

第52期 事業報告書

平成14年4月1日～平成15年3月31日

TOMY

Dream Energy

Message

Topics

Report

Network

History

Summary

株式会社トミー

MESSAGE

株主の皆様へ

平素は、株主の皆様にとにかく丁寧なご厚情、ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。当期も6ページに記載の通り、前期に引き続き当期損失を計上することとなり、株主の皆様には深くお詫び申し上げます。また、このような厳しい状況を踏まえ、誠に申し訳ございませんが、配当を見送らせていただくことといたしました。

「トミー再生」に向けて

私達トミーは当期の後半に入り、業績が赤字見通しとなるなかで、その要因である収益構造の悪化という状況を打破すべく、「業務改革推進本部」を設置し、「利益重視の経営」と「信頼の回復」という基本方針に基づいて、「トミー再生」に向けた改革に着手し、現在多くの課題に積極的に取り組んでおります。この主な内容について、既に実施したものも含めてこれからお話したいと思います。

緊急施策の実行

まず、最優先の緊急施策として、商品構成の見直し、成長性・収益性の高い商品へのシフト、製造原価削減、在庫管理の徹底などによる売上原価の削減を図っております。また、今期以降の人件費を圧縮するために、希望退職者の募集等を当期中に実施しました。人件費以外の固定費についても、物流費、広告宣伝費、研究開発費などの見直しにより、削減を進めてまいります。

玩具事業および玩具周辺事業の強化と事業本部制の導入

玩具事業につきましては、「売上至上主義」から脱却し、採算性に重点を置いて展開、強化してまいります。さらに、玩具菓子、ベビー事業など、玩具流通ではない新たな流通、広いターゲットに向けたニュートイ事業・玩具周辺事業を「フロンティア事業」と位置付け、成長軸としてまいります。国内での事業をトイ事業、ディズニー事業、フロンティア事業に分け、これに海外向けの国際事業を加えた4事業を戦略事業として、積

極的に推進してまいります。

そのために、事業部門の組織を改め、責任と権限の明確化、企画、仕入から販売までの一貫性・完結性、損益管理の徹底などの点で、従来とは異なる事業本部制を導入しました。すなわち、上記の4つの戦略事業を担う4事業本部を新たに設置するとともに、各事業の特性に合わせた意思決定をスピーディに行い、利益重視の徹底を図り、責任経営を推進するために、事業本部長に大幅な権限委譲を実施し、風通しの良い組織、風土作りを進めております。

MESSAGE

TOPICS
REPORT
NETWORK
HISTORY
SUMMARY

株主の皆様へ

会社概要

ストーリー

商品企画・開発力の強化

オリジナリティのある「オンリーフロムトミー」商品を創出するために、グローバル商品を「国際ナショナル事業本部」で開発するなど、各事業本部ごとに開発部門を設置、強化しました。従来の企画・開発ネットワークにつきましても、より強固で相互に収益性の向上を図ることが可能な組織に再編成してまいります。こうした体制のもと、新商品を厳選し、市場ニーズに合致した、子どもたちはもちろん幅広い層にいつまでも楽しんでもらえる商品の開発を進めてまいります。また、子会社(株)トミーデベロップメントセンターの技術支援機能とシンセン(中国)にある技術センターの設計技術機能を強化し、同時に品質保証・管理機能をグループサポート機能として捉え、同社に移管、統合しました。今後、両者の連動により、リードタイムの短縮化など、技術の側面から企画・開発を強力に支えるとともに、技術と連動した商品クオリティの向上を目指し、効率化の実現と収益の確保を図ってまいります。

継続的なコスト削減

前記の緊急施策としてのコスト削減だけではなく、将来にわたる継続的な原価・販管費の削減、さらにはグループ連結経営の効率化と収益向上に向けて体制を強化してまいります。具体的には、事業別商品製造コスト基準の設定に加え、(株)トミーデベロップメントセンターの体制強化とシンセン技術センターとの連動によるコストセンター機能の強化を通じて、製造コストの削減に取り組んでまいります。また、グループ全体の顧客サービス業務などを集約した新子会社(株)トミーゼネラルサービスを設立し、既に業務を開始しておりますが、これにより、業務効率の向上を図り、販管費の削減を推進してまいります。

グループ経営の強化

当社では従来よりグループ経営の強化に注力しており、当期においても、当社本体の業績が悪化するなかで、既存子会社の大半は増益を確保しております。今後、事業領域の拡大とグループ経営のさらなる強化を図るべく、子会社(株)トミーダイレクトをハスプロ社との提携を一層強めるた

めに、同社との提携事業を専門に行う会社に業容変更したほか、合弁子会社として、EL(自発光型誘電面発光体)技術を用いた実用・実遊戯品の企画・販売を行う(株)グローテック国際ナショナルを設立しました。同様に、ディズニーリゾート、ディズニーストアへの企画・開発事業を専門に行う(株)トミーリンクを設立し、営業を開始しました。

今後の事業展開につきましては、玩具事業を収益の柱となるトミカ、プラレールをはじめとした定番・オリジナル商品の再強化や、継続品比率の向上などにより、確固たる安定基盤としていくとともに、ディズニー事業を最重点事業として位置付け、グループシナジーを最大化し、大型定番ビジネスに育ててまいります。また、ディズニーキャラクターの活用などにより、フロンティア事業のうち玩具菓子分野では当社が、カプセル玩具、雑貨等の分野では、子会社が既に成果を上げておりますが、フロンティア事業を今後の成長の核とすべく、ターゲットの明確化、玩具ビジネスの活用などにより、さらに強化し、新市場を創造してま

います。国際ナショナル事業では、「マイクロエンターテインメント構想」という継続的なテーマのもと、「マイクロベット」に次ぐグローバル商品を世界市場に送り出してまいります。

以上、私達トミーは企業体質の強化を図り、「利益重視の経営」を推進することにより、業績と信頼の回復に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

富山 幹太郎

TOPICS



ギネスも認めた世界一！

ちっちゃなマイクロペットにおっきな荣誉



マイクロペット



ギネス認定証

マイクロペット
昨年6月の米国発売以来、快速
撃を繰り返しているマイクロペット
ですが、実は昨年12月、ある記録
でギネスに世界一と認定されてい

たのです。それは、「世界一小さな、
音声で動く電動玩具」。わずか50
mmという小さな身体で、呼びかけ
に応じてチャカチャカ歩いて楽しく
歌う姿が世界中で大人気。現在
29カ国で販売されており、1000万
個の販売も達成することが出来ま
した。今年の7月には1周年を記念
して、実際のペットとしても人気の

高いアメリカンショートヘアやバグ
などをモデルにした新しい仲間も登
場予定。歌える歌も3曲に増えて、
ますます賑やかに走りつづけます。

※「ギネス」とは…世界中のあらゆるNo.1を認
定するギネスは、イギリスで誕生しました。19
55年、いろいろな世界一を掲載した初めての
ギネスブックが発行されたことで話題になり、
50年もの間、世界中で親しまれています。ギ
ネス記録のうち、特におもしろいものだけが
ギネスブックに掲載されます。

和みたい全ての人に、笑顔の贈り物！

そばにいてだけで“ほっ”とする — そんな存在です！



のほほん族

最近、病院や喫茶店、街中のちょ
っとした空間の中でニコニコと穏や
かな笑顔を浮かべる「のほほん族」
に出会ったことはありませんか？昨
年7月に発売された「のほほん族」
には、身体を揺らしながらはなうた
を歌う「はなうたの民」と、陽の光
を浴びてのどかに首を振
る「ひだまりの民」がい
て、いつのまにか55万個
という実績を記録してし

まいました。特に、「ひだまりの民」
はソーラーパワーを利用したエコ仕
様で、お部屋の蛍光灯程度の光
があれば心地よく首を振り続けてく
れます。お店の棚の中でも揺れて
いる様子がわかるように、パッケージ
にひと工夫を凝らしたことも効を奏
し、つつい手を伸ばしてくださる
お客様が多いようです。最近では、
こうした「のほほん族」のように和み
系、癒し系といわれる玩具が、幅

広い年齢層に受け入れられ、ちょ
っとしたブームを築いています。トミ
ーでも、「のほほん族」や「マイクロ
ペット」をはじめとして、今年の3月末
には手のひらに乗せるとピヨピヨ鳴
き出す小さなひよこ「ゆびのりピピ」
を発売、今後も、先行販売で好評
を博した小さなアクアリウム「マイ
クロアクア」(2003/6発売予定)な
ど、積極的に商品展開をしてまい
ります。



ゆびのりピピ



マイクロアクア

こどもたちは名画伯!

光るお絵描き「Lights Alive」を体験

今年1月、トミーでは愛知県のプリントラボ株式会社(代表取締役: 福田晋作)との技術提携により、水性インクなどで書いた文字や絵が発行する新素材を応用したお絵描きボード「Lights Alive」の商品発表会を開催いたしました。新発光技術を利用した「Lights Alive」は、書いた部分だけが美し

く光るので、簡単手軽にオリジナルネオンサインを作ることが出来ます。素材のEL(エレクトロ・ルミネッセンス)シートは、「軽量」で「曲げても安全」、「熱も出ない」という特徴があり、今回、お絵描きシートを発売する一方で、玩具以外の可能性を追求するため、プリントラボ株式会社との合弁会社を

設立いたしました。商品発表の会場では、お絵描き好きな子供たちが、一足早く光るお絵描きを体験。両社の社長も交えて描きあげた絵を持っての記念撮影に臨みました。画用紙・クレヨンいつものお絵描きとは違う、光るお絵描きに子供たちも大満足。会場は和やかな雰囲気に包まれていました。

※「Lights Alive」は2003年夏発売予定です。



記者発表での記念写真

ストラディバリウスなみの名演奏も思いのまま!?

弓を動かすだけで簡単に弾けるイージーヴァイオリン「evio」登場!

今年7月、トミーでは、弓を動かすだけという簡単操作で誰もがヴァイオリニスト気分を味わえる、イー

ジーヴァイオリン「evio(エヴィオ)」を発売いたします。ヴァイオリン本体にはあらかじめ6曲が内蔵されており、本体のみでも遊べますが、別売りカセット「evioメディア」(10曲入り各1800円)によって、さまざまなジャンルの曲を楽しんでいただけます。演奏は弓を動かすだけの簡単操作ですが、弓を動かすスピードで、激しい演奏やゆったりとした演奏など、微妙な

音色が楽しめるので、同じ曲目でも弾く人によって雰囲気も違って聞こえます。テレビに接続すると、感情を込めてのソロ演奏や、オーケストラをバックにしたソリスト気分の演奏などいろいろな楽しみ方も可能です。発売に先立ち、4月に行なわれた商談会場で「evio(エヴィオ)」お披露目発表会を開催いたしました。当日は、「evio」を手にステージ狭しと元気いっば

い踊って演奏してくれた「evio girls」の熱演もあり、集った方々には、商品の楽しさ、手軽さが充分伝わった発表会となりました。発売に向けては、「evioイメージキャラクター」にヴァイオリニスト高嶋ちさ子さんを起用し、「evio」を通じてヴァイオリンの楽しさ、音楽の素晴らしさを伝えることが出来るCMを制作予定です。どうぞお楽しみに!



発表会でのevio girls

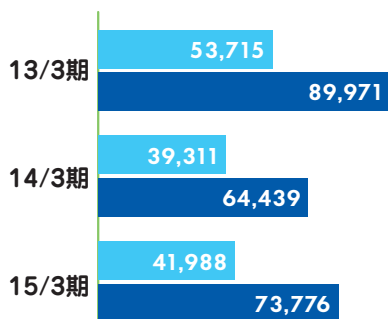
REPORT



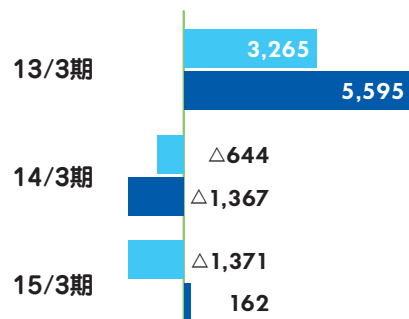
業績の推移

単体… ■ 連結… ■

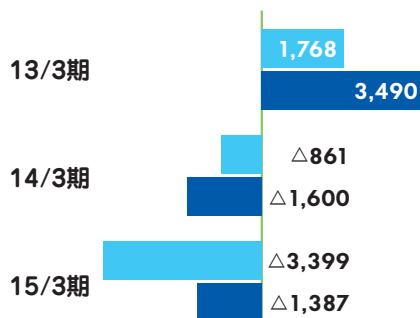
売上高 (単位:百万円)



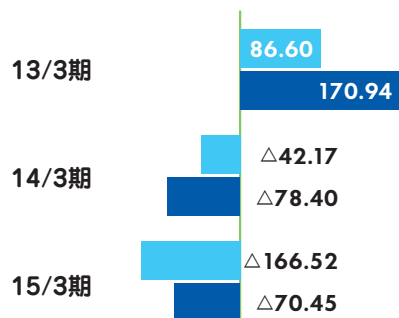
経常利益 (単位:百万円)



当期純利益 (単位:百万円)



1株当たり当期純利益 (単位:円)



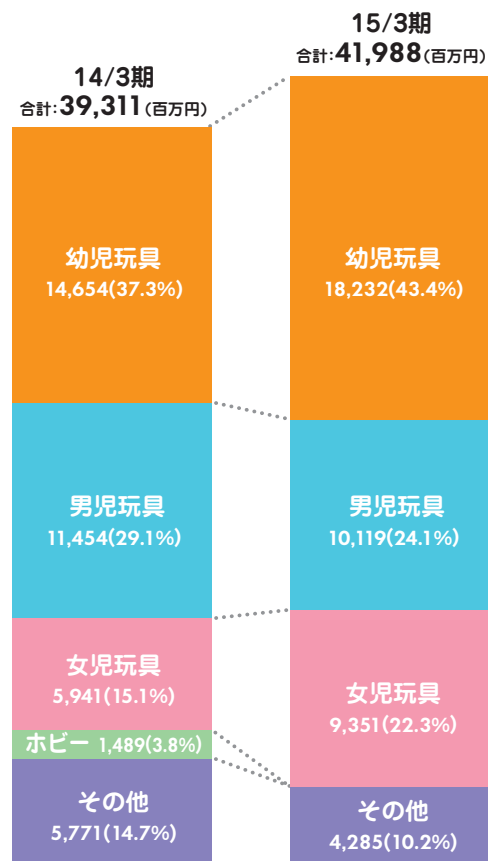


当期業績の概況

当期は当社からのディズニーライセンスの許諾企業を含めたディズニー事業の本格化を積極的に推進してまいりました。また、「マイクロエンターテインメント構想」に基づき、かわいらしさと賢さを併せ持つ超小型の新商品「マイクロベット」を開発し、世界市場をターゲットとしてマーケティングに取り組んでまいりました。玩具周辺事業の一つとして前期に本格参入した玩具菓子の分野では、ディズニーキャラクターなどを積極的に活用して、引き続き他社との差別化とシェアの向上に努めてまいりました。

以上により、当期の売上高は41,988百万円(前期比6.8%増)となりました。しかしながら、売上高全体に占める原価率の高い商品の比率が高まったことや、過剰在庫の処分などにより、原価率が悪化して、販売費及び一般管理費の負担を吸収できず、1,371百万円の経常損失となりました。最終損益段階では、希望退職等に伴う特別退職加算金や株式評価損等を特別損失として計上した結果、3,399百万円の当期損失となりました。

部門別売上高の推移



(注) %は構成比を示しております。

REPORT



部門別売上高の概況 15/3期 合計：41,988(百万円)

幼児玩具部門

定番商品のトミカ、プラレールはやや苦戦しましたが、「くまのプーさん たためるジム」、「よくばり ジムウォーカー」など、ディズニー関連商品が支持を得て、引き続き売上を大きく伸ばしました。玩具菓子もディズニーキャラクターの活用などにより、大幅な売上増となり、幼児玩具部門全体としては、18,232百万円(前期比24.4%増)となりました。

男児玩具部門

カードゲームの「シャーマンキング」がメディアミックスの継続や新シリーズの展開により、売上が増えました。また、スター・ウォーズ関連商品が映画「エピソード2」公開との連動により、売上に貢献したほか、「ゾイド」の輸出が大きく伸び、当期の新商品「ヒカリアン」シリーズも新たに売上に加わりました。しかし、前期に貢献した「ビットチャージャー」やゲーム類などが振るわず、男児玩具全体としては、10,119百万円(前期比11.7%減)となりました。

女兒玩具部門

新商品の「マイクロペット」が音調認識によるアクションなどの優れた機能と手のひらにのるかわいらしさから、幅広く人気を集めました。このほか、好きな形のままにシールを作ることができる「セラエクセレント」や新商品の「おうちでプリクラ」など、女兒ホビーの「てづくり倶楽部」シリーズ、「なごみトイ」の「のほほん族」シリーズなども寄与し、女兒玩具全体としては、9,351百万円(前期比57.4%増)となりました。

その他の部門

文具、アパレル等の子供用生活雑貨用品の減少が響き、その他部門全体としても、4,285百万円(前期比25.7%減)となりました。

(注)鉄道模型トミックスを主力とするホビー部門は前下半期より、子会社の(株)トミーテックに移管されました。





チョコパーティ(玩具菓子)
© Disney Enterprises, Inc.



よくばりジムウォーカー
© Disney Enterprises, Inc.



ソイド © 1983-2003 TOMY



スター・ウォーズ スーパーサウンドライトセーバー
© Lucasfilm Ltd.&TM. All rights reserved. Used under authorization.



マイクロペット



のほほん族

REPORT



貸借対照表

(単位:百万円)



流動資産

子会社に対する「短期貸付金」が一部「長期貸付金」に振替えられたことにより、減少しましたが、転換社債の償還に備え、長短借入金を増やしたことに伴い、「現金及び預金」が増加しました。

固定資産

子会社に対する「長期貸付金」が上記の振替えなどにより、増加しましたが、「投資有価証券」が売却、流動資産への振替えなどにより、減少しました。

流動負債

償還期限が1年以内となった転換社債が固定負債から振替えられたほか「未払金」や「短期借入金」などが増加しました。

固定負債

長期借入金が増加した一方、上記の転換社債の振替えなどがありました。

資本剰余金、利益剰余金

規則の改正により、新たに表示されました。従来の「資本準備金」は「資本剰余金」に、従来の「利益準備金」、「その他の剰余金」は「利益剰余金」に含まれます。

科目	金額	
	52期 平成15年3月31日現在	51期 平成14年3月31日現在
資産の部		
流動資産	31,156	30,226
固定資産	14,548	15,046
繰延資産	25	7
資産合計	45,729	45,280
負債の部		
流動負債	20,915	11,154
固定負債	9,442	15,210
負債合計	30,358	26,364
資本の部		
資本金	2,989	2,989
資本剰余金	2,936	—
資本準備金	—	2,936
利益剰余金	9,557	—
利益準備金	—	747
再評価差額金	—	25
その他の剰余金	—	12,311
その他有価証券 評価差額金	—	△91
土地再評価差額金	25	—
株式等評価差額金	△130	—
自己株式	△8	△3
資本合計	15,371	18,915
負債及び資本合計	45,729	45,280

損益計算書

(単位:百万円)

科目	金額	
	52期 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで	51期 平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで
売上高	41,988	39,311
売上原価	29,838	26,321
売上総利益	12,149	12,990
販売費及び一般管理費	13,614	14,253
営業利益	△1,464	△1,263
営業外収益	828	1,403
営業外費用	734	784
経常利益	△1,371	△644
特別利益	3	183
特別損失	1,725	1,430
税引前当期純利益	△3,094	△1,891
法人税、住民税及び事業税	△166	△102
法人税等調整額	472	△927
当期純利益	△3,399	△861
前期繰越利益	628	595
中間配当額	—	306
当期末処分利益	△2,770	△571

利益処分

(単位:百万円)

科目	金額	
	52期 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで	
当期末処理損失		2,770
任意積立金取崩額		
固定資産圧縮積立金取崩額	2	
国庫補助金圧縮積立金取崩額	0	
別途積立金取崩額	3,200	3,202
計		431
これを次のとおり処分いたしました。		
固定資産圧縮積立金等調整額	7	
次期繰越利益		424

売上高

マイクロペットなど、女兒玩具部門中心に増加しました。

売上原価

売上高に占める原価率の高い商品の比率が上昇したことなどにより、全体の売上原価率が上昇し、売上総利益は減少しました。

販売費及び一般管理費

幅広い経費の削減により減少し、売上高の増加と相俟って、対売上高比率も低下しました。

特別損失

特別退職加算金や株式評価損等を計上しました。

REPORT

単体 連結

当期業績の概況

連結売上高はトミー単体の売上増に加え、米国、欧州の販売子会社によるマイクロペット、国内販売子会社によるカプセルトイ、ディズニーぬいぐるみ等が好調に推移し、73,776百万円(前期比14.5%増)となり、売上原価率が前期とほぼ変わらなかったため、売上総利益も増加しました。

一方、積極的な販売促進活動に伴う広告宣伝費増や、人件費増などにより、販売費及び一般管理費はやや増加したものの、売上総利益の増加がこれを吸収して、営業利益は1,154百万円(前期は940百万円の損失)、経常利益は162百万円(前期は1,367百万円の損失)となりました。しかし、

最終損益段階では、希望退職等に伴う特別退職加算金や株式評価損等を特別損失として計上した結果、1,387百万円の当期純損失(前期は1,600百万円の損失)となりました。セグメント別の状況は下記のとおりです。

玩具事業

ディズニー関連商品がぬいぐるみ等を含めた幅広い商品展開など、事業の本格化により、大幅な売上増となりました。キャンディトイやカプセルトイもディズニーをはじめとしたキャラクターの積極的な活用や多様な商品展開などにより、引き続き好調に推移しました。また、スター・ウォーズ関連商品が映画「エピソード2」公開との連動により、売上を伸ばし、「おうちでプリクラ」など、女兒ホビーの「てづくり倶楽部」シリーズや、「なごみトイ」の「のほほん族」シリー

ズ等も好調でした。加えて、米国市場でマイクロペットが音調認識によるアクションなどの優れた機能と手のひらにのるかわいらしさから、人気を集め、同様にゾイドがハズブロ社との提携や、テレビアニメ放映との相乗効果により、大きく売上を増やしました。マイクロペットは米国に次いで、日本、欧州でも発売され、国内外とも新たに売上に貢献しました。この結果、玩具事業全体の売上高は71,607百万円(前期比17.9%増)となりました。

その他の事業

インスタントカメラのOEM生産の受注がなくなったことなどにより、その他の事業全体の売上高は2,169百万円(前期比41.1%減)となりました。



連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	金 額	
	平成15年3月期 平成15年3月31日現在	平成14年3月期 平成14年3月31日現在
資産の部		
流動資産	44,317	39,690
固定資産	12,808	14,736
繰延資産	25	7
資産合計	57,150	54,434
負債の部		
流動負債	30,718	19,748
固定負債	7,889	14,144
負債合計	38,607	33,893
少数株主持分	64	—
資本の部		
資本金	2,989	2,989
資本剰余金	2,936	—
資本準備金	—	2,936
利益剰余金	14,078	—
再評価差額金	—	25
連結剰余金	—	15,606
土地再評価差額金	25	—
その他有価証券 評価差額金	△118	△49
為替換算調整勘定	△1,425	△963
自己株式	△8	△3
資本合計	18,477	20,541
負債、少数株主持分 及び資本合計	57,150	54,434

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	金 額	
	平成15年3月期 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで	平成14年3月期 平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで
売上高	73,776	64,439
売上原価	47,943	42,046
売上総利益	25,832	22,393
販売費及び一般管理費	24,678	23,333
営業利益	1,154	△940
営業外収益	391	522
営業外費用	1,383	949
経常利益	162	△1,367
特別利益	104	187
特別損失	1,417	563
税引等調整前当期純利益	△1,150	△1,743
法人税、住民税及び事業税	906	537
法人税等還付額	170	140
法人税等調整額	△531	△539
少数株主利益	33	—
当期純利益	△1,387	△1,600

REPORT

単体 連結

連結キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

科目	金額		科目	金額	
	平成15年3月期 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで	平成14年3月期 平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで		平成15年3月期 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで	平成14年3月期 平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで
営業活動によるキャッシュフロー			投資活動によるキャッシュフロー		
税金等調整前当期純損失(△)	△1,150	△1,743	有価証券の取得による支出	△1,534	△1,264
減価償却費	2,373	2,069	有価証券の売却による収入	614	1,741
有形固定資産除却損	82	32	有形固定資産の取得による支出	△2,219	△2,147
有形固定資産売却損益	△10	△163	有形固定資産の売却による収入	29	250
繰延資産償却額	14	106	無形固定資産の取得による支出	△34	△66
貸倒引当金の増加額(減少額)	182	△1	投資有価証券の取得による支出	△503	△692
退職給付引当金の減少額	△479	△5	投資有価証券の売却による収入	1,178	35
受取利息及び受取配当金	△99	△118	連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△66
支払利息	279	303	その他	△275	55
有価証券売却損益	—	27	投資活動によるキャッシュフロー	△2,744	△2,154
投資有価証券売却損益	58	△19	財務活動によるキャッシュフロー		
投資有価証券評価損	458	202	短期借入金の増加額(減少額)	2,021	△600
売上債権の減少額(増加額)	1,123	△955	長期借入れによる収入	3,600	—
たな卸資産の減少額	97	1,088	長期借入金の返済による支出	△1,130	△1,037
未収入金の減少額(増加額)	66	△111	社債の発行による収入	1,200	—
前払費用の減少額(増加額)	581	△635	配当金の支払額	△109	△607
長期前払費用の増加額	△108	△98	その他	14	△2
仕入債務の減少額	△102	△1,088	財務活動によるキャッシュフロー	5,596	△2,248
未払金の増加額	724	140	現金及び現金同等物に係る換算差額	△236	151
未払費用の増加額(減少額)	210	△396	現金及び現金同等物の増加額(減少額)	5,695	△7,217
預り保証金の減少額	△67	△433	現金及び現金同等物の期首残高	15,789	23,041
その他	△390	284	新規連結子会社の現金及び現金同等物	28	—
小計	3,845	△1,514	除外連結子会社の現金及び現金同等物	—	△34
利息及び配当金の受取額	95	118	現金及び現金同等物の期末残高	21,513	15,789
利息の支払額	△288	△343			
法人税等の支払額	△572	△1,227			
営業活動によるキャッシュフロー	3,079	△2,965			

キャッシュフローの状況

当期末における連結ベースの現金及び現金同等物の残高は、前期末と比較して5,723百万円増加し、21,513百万円となりました。これは主として、投資活動による

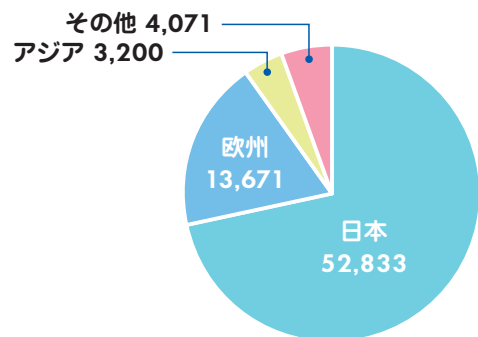
キャッシュフローが金型等の有形固定資産の取得などにより、マイナスとなる一方で、営業活動および財務活動によるキャッシュフローが売上債権の減少や未払金

の増加、長短借入金の調達を増やしたことなどにより、プラスとなったことによるものです。

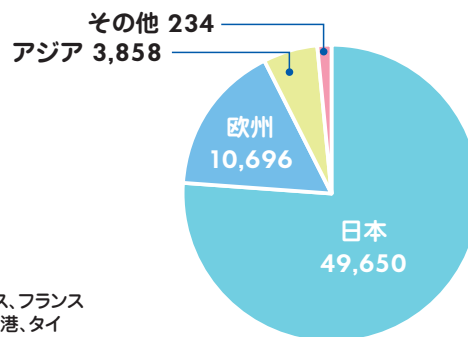
セグメント情報

所在地別売上高 (単位:百万円)

当期 73,776



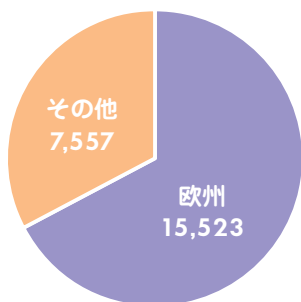
前期 64,439



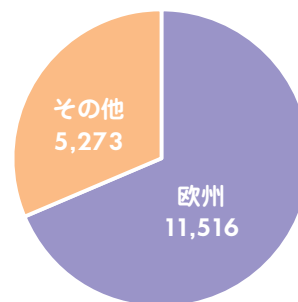
欧州:イギリス、フランス
アジア:香港、タイ
その他:北米等

海外売上高 (単位:百万円)

当期 23,081



前期 16,790



欧州:イギリス、フランス等
その他:北米、香港等

NETWORK

海外ネットワーク

欧州

欧州では北米に次いで大きな玩具市場が形成されております。1982年英国に設立したTOMY UK LTD.は、フランス、ベルギーを除く欧州全域において販売を行っており、英国の幼児玩具の分野では、トップクラスの地位を誇っております。この幼児玩具部門を安定基盤として、カプセルトイの分野に進出するなど、同社は事業領

域の拡大にも注力しております。1985年フランスに設立したTOMY FRANCE SARL.はフランス、ベルギーでの販売を担当しております。当期は2社ともマイクロペットなどの売上が貢献して、業績が回復しております。今後、2社の機能統合を軌道に乗せ、欧州における拡販を目指してまいります。



TOMY UK LTD.



TOMY FRANCE SARL.

アジア

アジアは当社の海外進出の最初の地であり、1970年香港に設立したTOMY (HONG KONG) LTD. がその第一歩となりました。以来、現地の玩具製造業者と技術力、品質管理能力を共有し、優れた商品を世界に提供しております。また、その品質の高さを裏づけるように、国際標準規格「ISO 09001」に次いで、環境管理に関する国際標準規格「ISO 14001」を取得しております。今後は同社のア

ジア向けの外部販売を通じて、トミカ、プラレール等の定番・オリジナル商品に加え、ディズニー関連商品の拡販にも取り組んでまいります。1987年タイに設立したTOMY (THAILAND) LTD.は、自前の工場

と1000人を超える従業員を有しており、ホンコン同様、トミーグループにおける一大生産拠点となっております。同社は「ISO 09002」を取得しており、コストダウン、生産効率向上に継続して取り組んでおります。



TOMY (THAILAND) LTD.



TOMY (HONG KONG) LTD.

MESSAGE
TOPICS
REPORT
NETWORK
HISTORY
SUMMARY

トミカ

ネットワーク

決算情報

北米

当社は1973年から世界最大の玩具市場である北米に進出しており、1998年に、それまでの販売子会社を閉鎖し、TOMY CORPORATIONを設立しました。当初は当社グループ商品のウォルマート、トイザラスなどへの販売の支援と情報収集を主な業務としておりましたが、当期より本格的に販売業務に取り組み、米国でのマーケティングを推進しております。その一環として、昨年6月よりグローバル商品のマイクロベットを日本、欧州などに先行して販売しました。これにより、同社の収益は大きく伸

びております。また、1999年に当社の子会社(株)ユージンと共同でTOMY YUJIN CORPORATIONを設立し、カプセルトイの販売を開始しました。売上規模は主力店舗へのマシンの設置数の増加に伴い、まだ小さいながら着実に伸びており、今後の成長が期待されます。



TOMY CORPORATION
TOMY YUJIN CORPORATION

国内ネットワーク

本社・営業所

- 本社 〒124-8511 東京都葛飾区立石7-9-10
- 東京営業所 〒124-8511 東京都葛飾区立石7-9-10
- 名古屋営業所 〒461-0003 名古屋市中区錦3-2-1
- 大阪営業所 〒567-0891 茨木市水尾1-1-13
- 九州営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅前2-17-26



トミー本社

国内子会社(14社)

- 小物玩具販売 (株)ユージン
- 玩具卸 (株)ユーエース
- 生活雑貨販売 (株)ユーメイト
- 玩具雑貨販売 (株)ハートランド
- 玩具雑貨の企画製造 (株)グローテックインターナショナル
- 玩具雑貨の企画開発 (株)トミーリンク
- 玩具類の企画開発 (株)トミーデベロップメントセンター
- 玩具輸入販売 (株)トミーダイレクト
- 物流サービス トミー流通サービス(株)
- 玩具製造販売 (株)トミーテック
- 書籍販売・不動産賃貸 トミー興産(株)
- システム企画 トミーシステムデザイン(株)
- 遊戯施設の運営 (株)プレイキングダム
- アフターサービス (株)トミーゼネラルサービス

HISTORY

今回のHISTORY、テーマは‘トミー’

私たちは、私たちが創り出す‘おもちゃ’を通じて、子供たちの健やかな成長に貢献します。そして、新しい‘遊び’の価値を創り出すことにより、人々の心に夢と希望を提供してまいります。トミーの歴史は常に、子供たちの笑顔と‘おもちゃ’とともにありました。



創業者 富山栄市郎は、奉公先の製本所で見ただイツの美しい玩具に魅了され、おもちゃ創りを志し、10年という長く厳しい修行時代を経て、大正13年(1924年)2月2日、21才にしてトミーの原点である「富山玩具製作所」を創設しました。大正13年といえば、前年、東京を襲った関東大震災の爪痕も今だ癒えず、誰もが生きていくこと、生活することを最優先に考えても不思議ではない時期でした。そんな時代にもかかわらず、創業者が生業として選んだのは‘おもちゃ’でした。そして、栄市郎の熱意と努力は、創業第1号として製作された「赤いゼンマイ仕掛けの競争自動車」、続いて翌年製作された「ブレゲー複葉機」の大ヒットとして着実に実を結んでいきました。その後も栄市郎はヒットに甘んじることなく、玩具業界ではじめ

てとなる生産現場での‘流れ作業’の導入や、玩具研究部門の設置といった施策を次々と打ち出していきました。年号は昭和へと変わり、世界的な経済恐慌による失業率の増加や政治不安、軍部の台頭などで世情は荒廃していきますが、富山玩具製作所は「宙返り飛行機」等のヒットに恵まれ、昭和11年(1936年)には当時の玩具業界の常識を覆す規模となる1万坪を誇る桶川工場を新設します。栄市郎を突き動かしていたものは、我が国輸出の7%を占める貢献産業である玩具製造に携わっているという自負もさることながら、あまなく世界中の子供たちに、自らの手によるおもちゃを届けたいという創業来の夢の実現だったのかもしれませんが。しかし栄市郎が自ら全精力を傾けた工場経営も、容赦なく襲い掛かる時代のうねりに抗うことが出来ず、金属

玩具製造禁止令を受けて閉鎖を余儀なくされてしまいます。昭和13年、桶川工場操業からわずか1年あまりのことでした。その後も栄市郎は、素材を木に変えておもちゃ創りの研究開発に没頭し、「歩く兵隊」等のヒット商品を生み出したものの、昭和17年(1942年)には、ついに木製玩具すら製造することが叶わなくなっていきます。軍需品の製造を手がけて3年、暑い夏の日、日本は終戦を迎えました。しかし、栄市郎のおもちゃ創りはこの後しばらく、再開されることがありませんでした。今年2003年は、トミーの創業者 故富山栄市郎の生誕100周年にあたります。



SUMMARY

会社概要 平成15年6月26日現在

商号	株式会社トミー	
所在地	東京都葛飾区立石7丁目9番10号	
設立	昭和28年1月17日(創業大正13年)	
資本金	29億8,994万円	
発行済株式総数	20,419,299株	
主な事業内容	1. 各種玩具雑貨、食品付玩具類の企画・製造・販売ならびに輸出入 2. テレビゲームソフト、乳幼児関係商品等の企画・製造ならびに販売 3. コンピュータのソフトウェアの企画・開発・製造ならびに販売	
役員	代表取締役社長兼最高経営責任者	富山 幹太郎
	常務取締役兼グループ国内事業担当	奥秋 四良
	常務取締役兼業務改革推進本部長	三浦 俊樹
	取締役兼グループ海外事業担当	高橋 勇
	取締役	渡辺 泰行
	常勤監査役	松葉 光雄
	監査役	吉成 外史
	監査役	堀内 国宏
	監査役	梅田 常和
執行役員	トイ事業本部長	柳澤 茂樹
	ディズニー事業本部長	沢田 雅也
	フロンティア事業本部長	神尾 俊二
	インターナショナル事業本部長	杉山 和彦
従業員	288名(出向者、嘱託等を除く)(平成15年3月末現在)	
取引銀行	三井住友銀行	みずほコーポレート銀行
	商工組合中央金庫	東京三菱銀行
	りそな銀行	足利銀行
	東京都民銀行	千葉銀行
	新生銀行	中央三井信託銀行

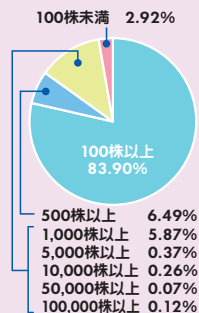
株式の状況 平成15年3月末現在

会社が発行する株式の総数	60,000,000株
発行済株式の総数	20,419,299株
1単元の株式数	100株
株主数	20,368名

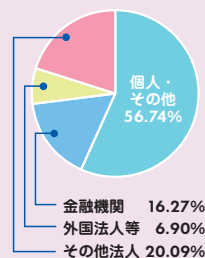
大株主(上位10名) 当社への出資状況

株主名	持株数	議決権比率(%)
有限会社トミーインシュアランス	2,260,476	11.1
富山 幹太郎	1,963,400	9.6
富山 長次郎	1,856,000	9.1
東京中小企業投資育成株式会社	760,356	3.7
富山 優	480,882	2.4
司不動産合資会社	472,680	2.3
包括信託受託者 三井アセット信託銀行株式会社 (委託者株式会社三井住友銀行)	450,000	2.2
富山 章江	434,700	2.1
ザチエスマンハットン バンクエヌエイロンドン	404,800	2.0
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	391,900	1.9

所有株式数別株主数比率



所有者別株式数比率



株式会社トミー

〒124-8511 東京都葛飾区立石7-9-10

お問い合わせ先

TEL 03-3693-9033

ホームページアドレス

<http://www.tomy.com>

(事業報告書などのIR情報も当社のホームページでご覧になれます。)

- 決 算 期 毎年3月31日
- 定 時 株 主 総 会 6月中
- 基 準 日 定時株主総会については毎年3月31日、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日
- 配当受領株主確定日 毎年3月31日及び中間配当を行うときは9月30日
- 1単元の株式の数 100株
- 公 告 掲 載 新 聞 東京都において発行される日本経済新聞
- 名 義 書 換 代 理 人 中央三井信託銀行株式会社
東京都港区芝三丁目33番1号
- 同 事 務 取 扱 所 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
- 郵 便 物 送 付 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
及 び 電 話 照 会 先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
03(3323)7111(代表)
- 同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

(お知らせ)

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求、配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。